

Step 5-1

わが家の  
収納計画を考える  
～収納計画って？～

---



## 収納計画って？

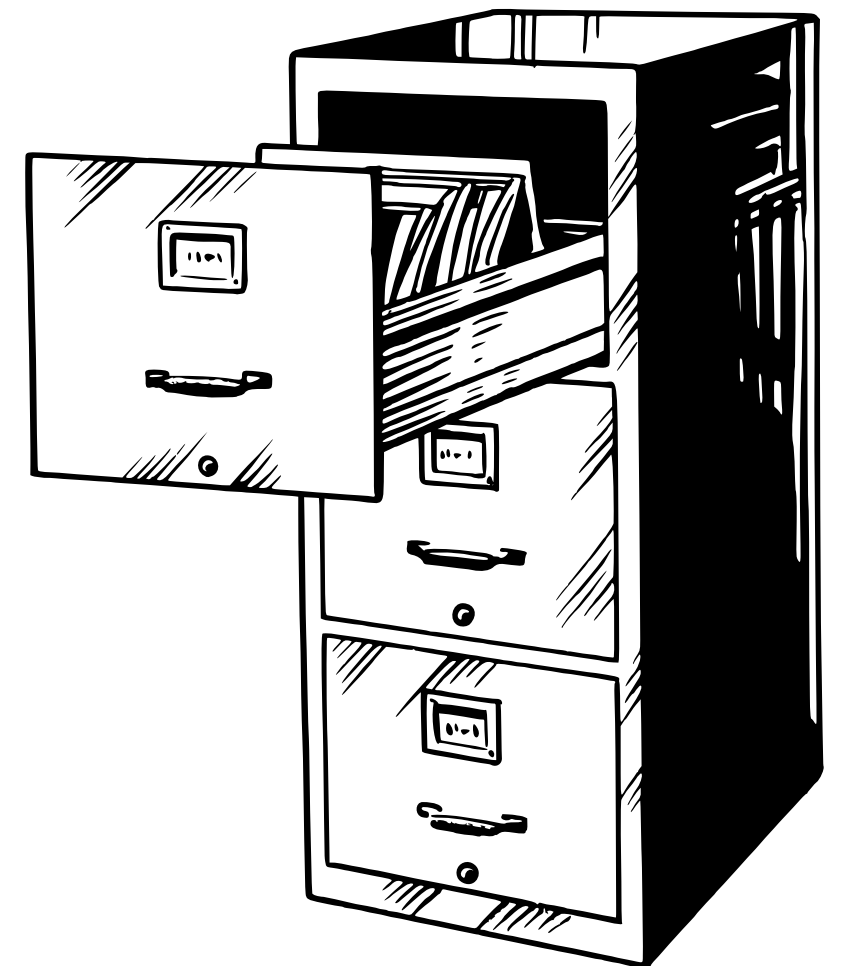
収納は「使う場所の近く」が基本。

どこに何を置くか、完璧な答えがあるわけではなく、家によって様々です。

だからこそ「ここでこれをするから、これを収納しよう」という計画をたてるのが使いやすい収納にするコツ！

家全部の計画を頭でたてることは難しいので

ワークをしながら紙に書いて、計画をたててみましょう！





Step 5-2

わが家の  
収納計画を考える  
～間取り図ワーク～

---



## 間取り図ワーク

まず、なるべく大きめの紙で家の間取りを用意してください。  
なければ簡単に書いたものでOK！

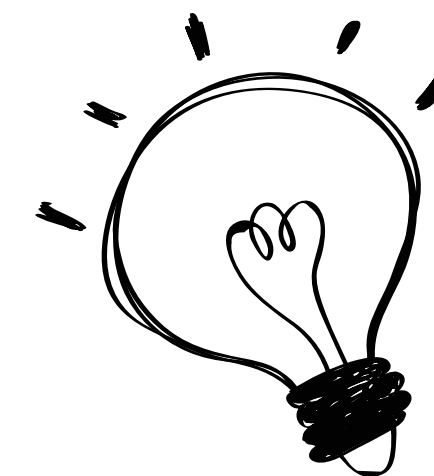
そして、付箋に

家のなかで「～する」という行動を書いて  
それをする場所に貼り付けてください。

※行動が浮かばない場合はワークシート①（時間のワーク）を見返してね！

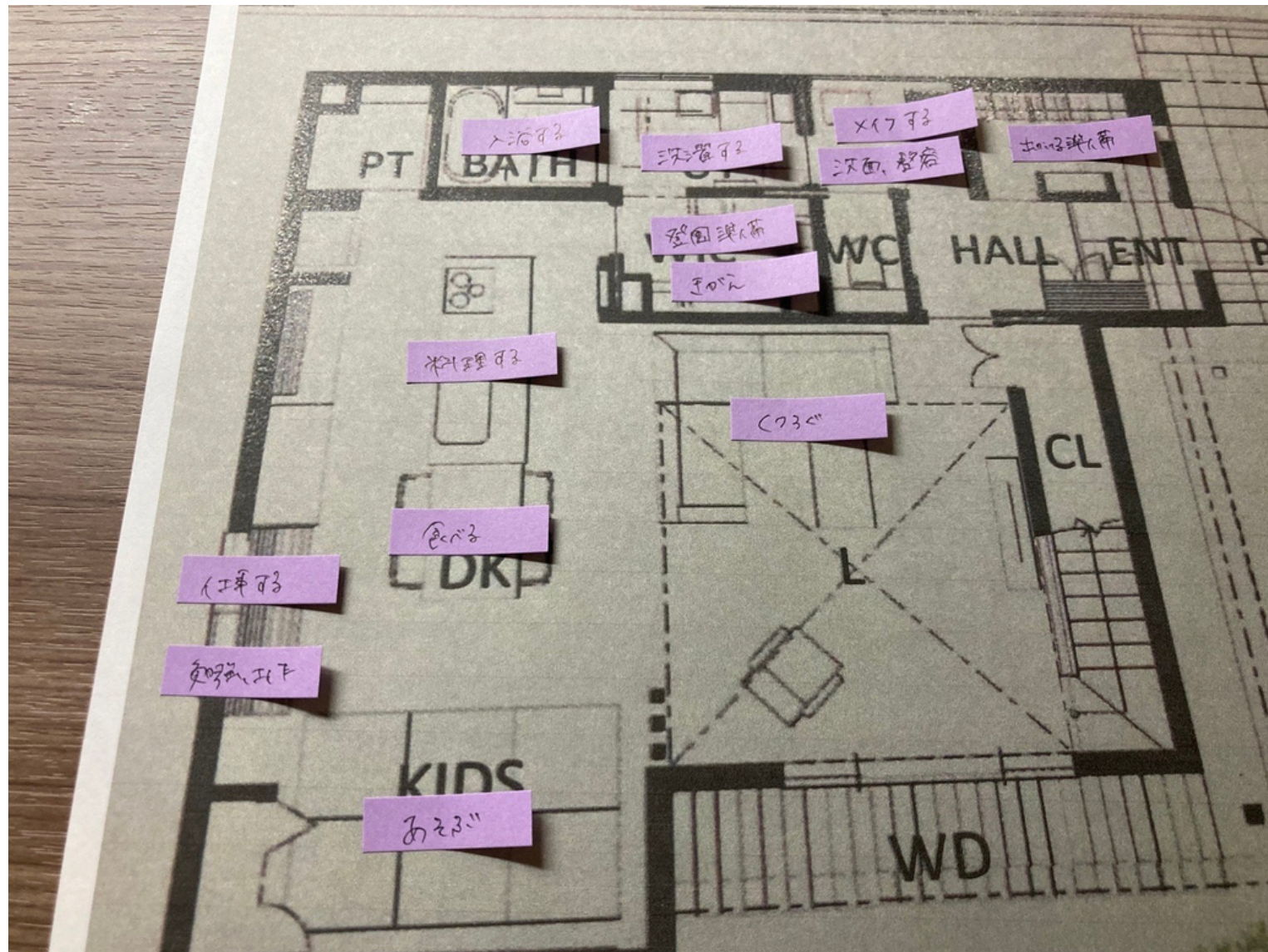
「食べる」「くつろぐ」「寝る」「洗濯物を干す」等  
そんな内容でOK！

次のスライドになっきの例を挙げています。  
参考にしてみてくださいね。

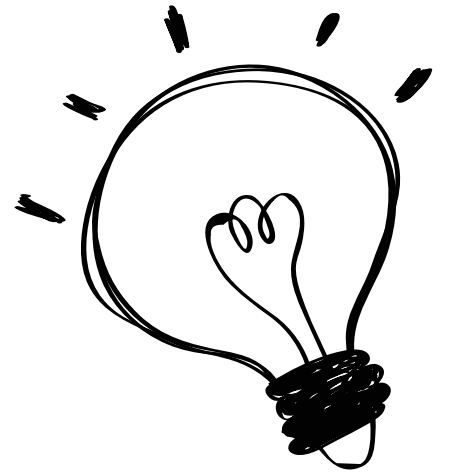




# 間取り図ワーク



- 朝起きてから
- 出かけるまで
  - 洗濯
  - 入浴前後
- 帰ってきてから



家族それぞれが「どこで何をするか」  
より具体的な行動をイメージできると良い！！  
家族に聞いてみてもOK♪

ポイントは、玄関やお風呂・トイレの場所は変えられないけれど  
寝室や洗濯スペース・クローゼットの場所は変えられる！！ということ。  
たとえばクローゼットが狭いなら、余った洋室を丸々ファミリークローゼットにする、など。

「どこで何をしたい？」「どこで何をするとラクかな？」と  
柔軟に考えてみることをオススメします！困ったら相談してね！



## 間取り図ワーク～動線の確認～

一通り「どこで何をするか」を考えて書き出したら  
最後に動線の確認をしてみましょう！！

動線とは「人や物の移動経路」のこと。

動線は短ければ短いほど、ラクに生活できていることになります。

先程考えた、起床後・帰宅後・入浴時・洗濯時…

それぞれ「どう動くかな」と間取り図を指でなぞってみましょう！

あっちに行って、こっちに行って…を繰り返すなら

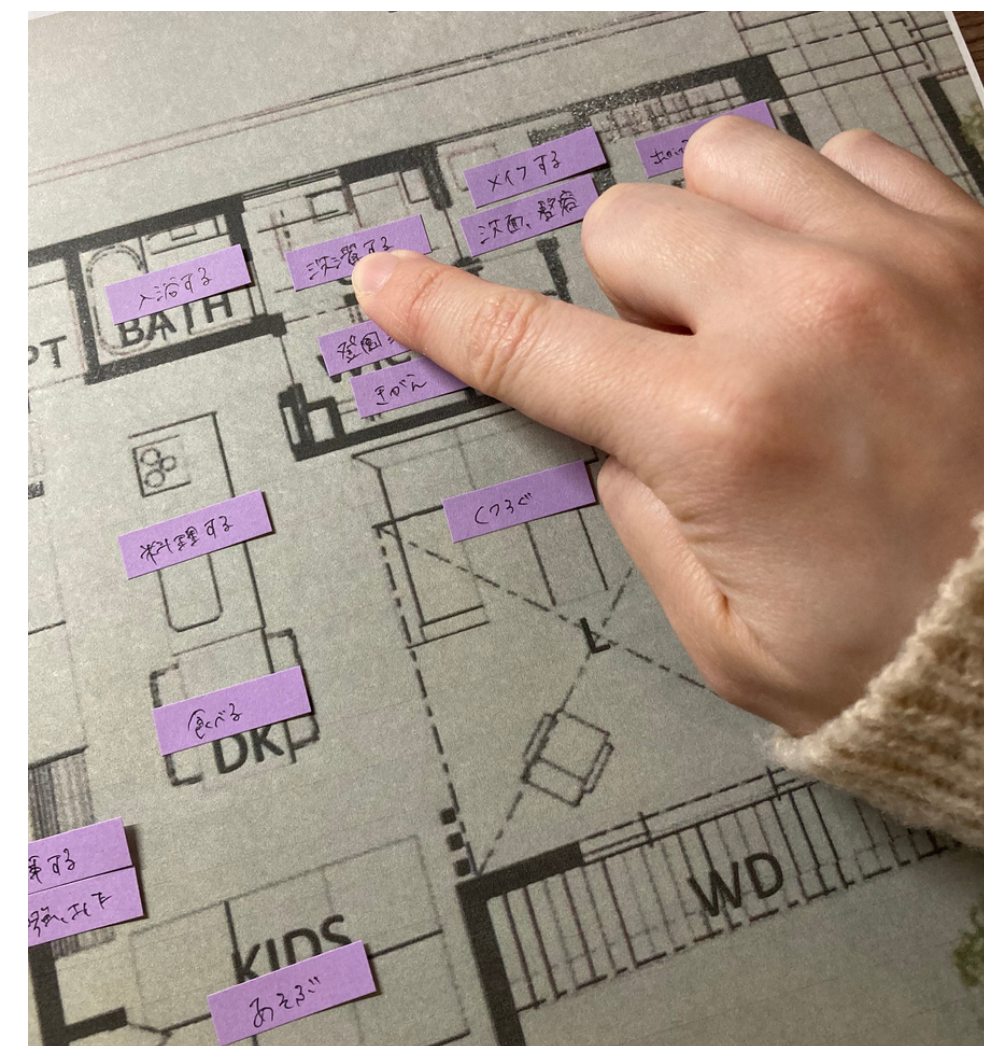
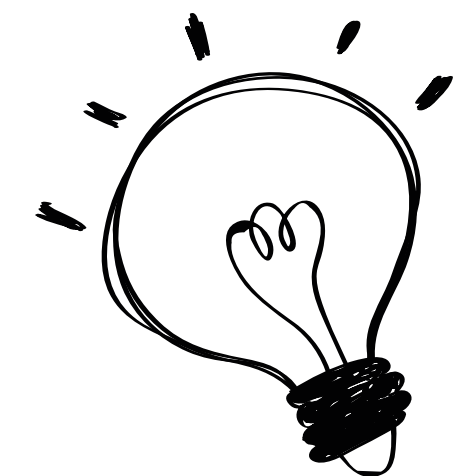
それは動線が長く、大変ですし

そのうち「モノをしまわずそこらへんにポイッ」になりかねない！！

動線が長くなってしまう場合は「そこはそれをする場所」ではなく  
再考した方が良くかもしれません。

イメージしにくいかもしれませんが、一度やってみて！

難しかったら教えてね！



*Thank you!*

ありがとうございました!

引き続き、次のスライドも見てくださいね。

わからないところはいつでもLINEしてください♪